



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第506号

2021年5月31日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

ギガスクール構想とは

ギガスクールのGIGAとは“Global and Innovation Gateway for All”「全ての人にグローバルで革新的な入口を」の意味です。

八千代市は9月までに17,000台のタブレットを用意し、令和4年4月から全小中学生に1人1台貸与されます。

2019年12月13日、安倍首相が経済財政諮問会議で経済対策として「GIGAスクール構想の実現」を含む予算の閣議決定をしたことに端を発し、コロナ禍の中でオンライン授業を求める声のたかまりで、構想は一気に早まりました。



子どもにとっての学校教育とは

子ども一人ひとりの学習データを蓄積し、AIの活用により子どもに「最適化」された課題を提供する。さらに個々人が異なる課題に取り組むことで「公正に個別最適化された学び」が実現すると政府・文科省は主張しています。

しかし、子どもたちにとって「生き生きとした学び」とは五感を使って実物に触れ、共同の学びの中で対話をし、人間的な触れ合いを通して「人格の完成」を目指すことではないでしょうか。個別の学習なら学校の存在価値はなくなります。

また、子どもの学習記録を蓄積したビッグデータの活用は、民間教育産業や巨大ITによる教育や生活への介入・支配につながる危険性もあります。

政府の2年前倒しで行われる「1人1台端末」による「教育のICT化」が子どもの教育・健康にどのような効果や影響が及ぶのか。この研究・検証も十分に行われていないままでの強行導入は学校現場から不安と戸惑いの声が上がっています。

今こそ少人数学級が求められている

タブレットを使いこなすには多くの時間が必要です。それでなくてもコロナ禍の非常事態で多忙を極める教員に研修時間はあるのか。

さらに現場では、どの教科のどの場面でタブレットを使うのか。子どもたちはタブレットと教科書・ノートはどこで使うのか。教科内容が理解できない上にアプリを使いこなせない子への指導はどうするのか。など、様々な問題が想起されます。

緊急事態宣言のなか、「3密」を避けるために午前・午後の2部制で授業が行われた際、先生方から、「子どもたち一人一人の顔が見え、生き生きと授業を受けていた」との感想にあるように、少人数学級こそが、子どもにとっても、教員にとってもあるべき姿ではないでしょうか。

子どもたちの未来社会に向け、「子どもたちにとっての最善の利益」を目指し、みんなで議論を深めることが必要ではないでしょうか。